

# 向学館通信

2009・7・27

## 夏休み中に、弱点の克服を！

夏休みの生かし方が秋以降の学習につながりません。基礎・基本の弱い人はこの時期に克服しておきましょう！ 夏休みの後半は、9月からの学習の「予習」ができれば最高！

夏休みは、身体を使う、本を読む、そして、勉強も！

## 実力テストの結果（報告）

7月の初めに、中1、中2の皆さんに、英語と数学の「実力テスト」を行いました。

予想通りといえますか、概して、心配していた通りの結果でした。

学校の定期テストでは、その時期に習った範囲から出題されます。しかし、実力テストは、これまで習った全範囲から問題を出しています。だから、以前に学んだことを忘れた人は、かなり低い点数しか取れていません。

たとえば、学校の定期テストで数学が70点台の人が、実力テストでは30～40点台位になっていました。小学校レベルの基本的なこと（たとえば、最小公倍数、最大公約数、mmとmの単位変換、gとkgの単位変換、割合、速さ、円周、円の面積、など）での「無記入」や間違いがとても多かったのには、驚きました。中2の人で、中1で習ったことを忘れてる人もかなりいました。また、簡単な計算の基礎が身につけていなかったり、基礎的な文章題でも式を立てることができないなど、各人のいろんな弱点がはっきりしました。

英語も、学校の定期テストの点数より、だいぶ下がった人が多かったです。三単現の「s」を理解していなかったり、代名詞の主格と目的格の使い分けができなかったり（たとえば、heとhim）、疑問文をつくるのに「Are you like music？」などと「do」を使えない、などなどの基礎的なことの無理解がまだまだかなりありました。英作文については、英語の語順を理解できていない人が多いのも気になりました。

このテストのおかげで、各人の弱点がわかり、対策が立てやすくなったということは、前進です。三年生になって、模擬テストという「実力テスト」を受けて、はじめて自分の実力がわかってがっかりするというのを事前に防げるだろうと思います。

この実力テストは、年に、7月、12月、3月の3回、実施します。これで、生徒各人がもっと自分の実力を自覚して、有効な学習ができるように指導したいと考えています。

## ノートを取れるようにしましょう

小学生の段階でノートが取れるようになると、その後の学力は伸びていきます。逆に、ノートが取れない人は、基礎・基本をいつまでもあいまいにしたままだったり、ちょっとややこしい問題だとそれ以上考えることをしないで済ませたりする傾向が強いように思われます。

最近、何人かの生徒に、ノートの取り方を指導しています。とくに理科や社会は、教科書や参考書などを読んでノートにまとめると、物事の関連が見えてきたり、理解が深くなったりして、「丸暗記」とは違った結果にむすびつきます。

学校の定期テストの直前には、一生懸命に覚えようとしてますが、テストが終わるとすぐに忘れてしまうといった、損な勉強の仕方が理科・社会では一般的です。しかし、このようなやり方では、ほとんど頭に残っていかないので、高校入試のときに、また一からやり直しのようなことで負担が大きくなります。また、理科や社会は、高校生になると、さらに詳しい内容の勉強をしなければなりません。それなのに、中学校で学んだことをほとんど忘れてしまっている（あるいは、理解していない）と、高校での学習が行き詰ってしまいます。

学んだことを記録して、記憶の中にしまいこむ、そして、必要な時にいつでも必要な知識や情報を記憶の中から取り出せるようにしましょう。ノートは、そのような能力を育てます。

## 漢字検定は8月21日（金）です

漢検を受ける人は、がんばって合格するように、真剣に勉強してください。